

《命を運ぶ出会い》

おはようございます、お元気ですか？

教会の中庭が綺麗に整備されました。(太田教会では中庭を有効に活用し、環境を整える為に舗装整備をしました) 綺麗になりましたよね。皆様に感謝致します。



人間は環境に影響を受けます。ですから、良い環境の中で、良い祈りの出来る心が育つのは確かな事です。聖堂では沈黙を守り、環境を綺麗に整えたりする事で、私達家族がもっと“祈りの味”を分かるようになることが私の一つの希望でした。

その様な意味で、庭も落ち着いたものになったら、人々が公園に行きたくなる様に、私達ももっと教会に来たい気持ちになれば、それは最高の事ではないかと思ひこの様に致しました。とにかく多くの方が苦勞なさせて頂きました。感謝致します。

さあ、説教に入ります。皆様は、テレビのドラマや映画で、この様な言葉をよく聞いたと思ひます。“運命的な出会い”。聞いたことはたくさんありますよね。

では、皆様各自の人生の中で、“運命的な出会い”というものが何回位あったのでしょうか。そしてその“運命的な出会い”の相手、対象は誰だったのでしょうか。思い出してみして下さい。簡単に言いますと、何よりも、“妻”“夫”その様な事でしょう。夫婦は、今では味方が敵か分からない様な関わりかも知れませんが、とにかく“運命的な出会い”によって今まで夫婦としてやって来ました。そして色々な関わり、色々な関係の中で、過ぎ去ってしまった、記憶にも残らないような出会いもあったと思ひます。そして、「これは、運命的な出会い」だと言ひながらも、いつも痛み、憎しみを感じさせる様な出会いもあったかも知れませんが、また、縁が結ばれなかったものの、たまにその人の事が浮かんで来る場合もあると思ひます。これを私達は“運命的な出会い”と言ひます。

では何故その様な出会いを“運命的な出会い”と言うかについて、少し説明させて頂きたいと思ひます。“運命”を漢字で書けば“運”と“命”。(実際にプリントした漢字を示す) さあ、“命”はいのちである事は分かっています。では“運”という字の意味についてもう一度考えてみましょう。どの様な意味でしょうか。字引(辞書)をご覧になったら直ぐ分かると思ひますが、一つは“動く”もう一つは“運ぶ”そして“移す”です。易しく言ひますと“運命”とは“命を運転する”という意味です。

どの様な意味でしょうか。“自分の生き方を変える”位の力を持っている事です。ですから、私達は気軽に“運命的だ”“運命的だ”と言ひますが、実際に自分の生き方が“移される”様に変わらなければ、それは“運命的”とは言ひません。では実際に“憎しみ深い”(笑)夫の顔を思い出して下さい。とにかく皆様の人生を変えましたよね。もしこの人に出会えなければ、違う人生が開けたのではないか。では逆に“憎らしい”奥さんの顔を思い出してみして下さい。とにかく“運命的な出会い”である事は確かな事です。それでは、子供さん達はどうかでしょうか。皆様のお父さん、お母さんはどうかでしょうか。それも“運命的な出会い”です。

先程、私は皆様に、皆様にとって“運命的な出会い”の相手は何人位、何件位あるのでしょうかと

話しました。それを少し理解しやすくする為に申し上げますと、皆様の“運命的な出会い”の中に、私は入っていますか？

金 大烈という、韓国から来たこのザベリオ神父は、皆様の“運命的な出会い”の中に入っているのでしょうか。すぐ、答えられませんよね。私は入りたいのです。

もっと率直に言いましょ。皆様にとって一番の“運命的な出会い”は《イエス・キリスト》です。その出会いがあったから、皆様はここに集まって、十字架を見ながら感謝の心を込めて、時には願い、時には赦しをもらおうとする心を現しているのです。何故なら、自分の“限りある”命ではなく、“限りない”命に感謝し、その方によって、“限りある”世界ではなく“限りない”その世界を望みながら、彼との関わりを作りたいという望みのもとに、皆様がここに来ているのです。

意識して下さい。中途半端な信仰ではなく、行っても行かなくてもよい、少し怠けてもよいという様な信仰ではなく、その様な出会いではなく、命がけの“運命的な出会い”として《イエス・キリスト》を考えて下さい。それがなければ、私達はいつも軽い気持ちで、信仰の道を歩んでしまいます。

皆様、祈る前に、そして祈りが終わった時に、日常の生活の中でも、色々な出会いがあった中で、完璧な「私を正しい道に導く」、その“運命的な出会い”は《イエス・キリスト》である事を意識しましょう。それが上手く出来れば、憎らしい奥さんが綺麗に見えます。それが出来れば、憎らしい夫の顔が達しく、男らしく見えます。

皆様も、“私も、素晴らしいこの“運命的な出会い”によって出会っています。この出会いを大事にしましょう。いつも心に意識しましょう。信仰というものは、頭から出ません。それは胸から出ます。心から出ます。心を込めている信仰の生活を努力する気持ちで、願う気持ちで続けましょう。

ありがとうございました。